**市政トピックス**

**黒部市と「災害時等相互応援協定」締結交流の輪が広がります**

10月8日、富山県黒部市と大崎市は、「災害時等における相互応援に関する協定」を締結しました。

　本市と黒部市は、YKKAPグループ企業が立地することや、観光面などさまざまな共通点があります。また、市民交流、議会交流などを通じて、相互のつながりを深めてきました。

　昨年の令和元年東日本台風により被害を受けた際には、黒部市から、いち早く職員を派遣していただき、道路などの災害復旧事業に尽力していただきました。

　協定締結にあたり、伊藤市長は「今後一層、両市の安全・安心の基盤が強固になること、そして、地方創生、元気な地域づくりを切磋琢磨していきたい」と、あいさつしました。

　市では、近年大規模化、多様化する災害に対応できるよう、過去に経験した東日本大震災などを教訓とし、さまざまな対策を進めています。

　皆さんも、日頃から身の回りの確認など、災害時の備えを万全にしましょう。

写真：　協定書に署名する伊藤市長（左）と黒部市の大野市長（右）

写真：　協定締結を機に、両市の交流の輪が広がることが期待されます。

**大崎市民憲章に込められた思いを表現した書を表彰しました**

市内小中学校33校から総数215点の応募があった「令和2年度大崎市民憲章書道コンクール」は、審査会を経て、43点の入賞作品を選定しました。

　最優秀賞と優秀賞を受賞した皆さんを対象に、10月9日に表彰式を行いました。

　審査員からは、「まっすぐに紙に向き合い、心を込めて書かれている作品が多く、とても真剣に取り組んだことが伝わりました」などの講評がありました。

　審査結果や表彰式の様子は、市ウェブサイト（http://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/10,40587,25,94,html）にも掲載しています。

**大崎市民憲章書道コンクール最優秀賞・優秀賞受賞者**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分 | 氏名 | 学校・学年 |
| 最優秀賞（2人） | ・佐々木 結衣さん・石澤 音羽さん | 敷玉小学校4年古川南中学校3年 |
| 優秀賞（7人） | ・武田 優桜さん・鈴木 うららさん・竹内 智治さん・後藤 芽衣さん・髙橋 葵さん・鈴木 凛子さん・大場 なつみさん | 古川第一小学校3年古川第三小学校4年古川第二小学校5年東大崎小学校6年古川東中学校1年古川黎明中学校2年田尻中学校3年 |

写真：　最優秀賞、優秀賞を受賞した皆さん

**10月の主な行事**

|  |  |
| --- | --- |
| 3日 | ●三本木パークゴルフ場オープン記念式典 |
| 4日 | ●三本木パークゴルフ場グランドオープン |
| 8日 | ●黒部市との災害時等相互応援協定締結式 |
| 11日 | ●新米まつり2020 |
| 16日 | ●青少年問題協議会 |
| 17日 | ●おおさき食の市●健康と福祉のつどい |
| 24日 | ●笑顔フェスタ2020秋 |
| 28日 | ●重要文化財「木造千手観音坐像」保存活用施設公開記念式典 |

写真：待望のオープンに、大きな歓声が上がった三本木パークゴルフ場

**地域発お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみ愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント・・・。

そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**田尻発　実りの秋、いざ収穫！**

　10月7日、大貫幼稚園でサツマイモ掘りが行われました。

　サツマイモは地元老人会の協力のもと、5月に苗植えを行い、子どもたちは毎日水やりを行うなど、大切に育ててきました。

　そして迎えた収穫の日。イモのつるを引っ張って土を掘り、サツマイモが顔を出すと、大きな歓声が上がりました。大きく育ったサツマイモを掘り起こして、喜ぶ子どもたちでした。秋空に笑い声が響きわたる、楽しいひとときを過ごしました。

　収穫したサツマイモは、後日行う園の収穫祭で、焼き芋にして、おいしくいただく予定です。

写真：大きなサツマイモ、みーつけた！

**鹿島台発　いきいき！元気にチャレンジ！**

10月13日、鹿島台駅前行政区と姥ケ沢行政区で「高齢者のつどい」が開催されました。高齢者のつどいは、市内在住のおおむね65歳以上の人が、介護予防や健康づくり、仲間づくりを目的とし、自主的に集う場です。

　この日は、ハーモニカの伴奏に合わせて歌を歌ったり、セントラルスポーツ株式会社の職員を指導員として招き、脳トレや軽運動を行い汗を流したりと充実した1日を過ごしました。

写真：脳トレにチャレンジする鹿島台駅前行政区の皆さん

写真：座りながら出来る軽運動にチャレンジする姥ケ沢行政区の皆さん

**鳴子温泉発　おもてなしの心でお出迎え**

　NARU-Go！再生プロジェクトは、組織や地域、職業などにとらわれず、「自由な立場」で「自分たちの手」で鳴子温泉地域に活気を取り戻そうと、鳴子峡大深沢橋ライトアップなどに取り組んでいます。

　10月19日、同プロジェクトが、紅葉シーズンを迎えた鳴子温泉郷を訪れる観光客に、鳴子峡を気持ちよく散策していただこうと、鳴子側遊歩道を下った約200メートルの間に、ベンチ4基を設置しました。

　プロジェクトリーダーの遊佐翔さんは、「鳴子峡レストハウス付近も見事な紅葉ですが、鳴子側遊歩道も、川面に近く見応えがある景観です。今後も鳴子の良さをもっと発信していきたいです。」と話してくれました。

写真：カラフルなベンチにゆったり腰を掛け、色づく鳴子峡を堪能できます。